

令和 6 年度市民向け講演会の振り返りについて

1. 日程

令和 7 年 1 月 25 日（土）13：30～15：00

会場：昭島市役所 1 階市民ホール

参加 45 名

2. 講演内容及び講師

○ 退院時の対応について

（講師）医療社団法人竹口病院 医療連携室 寺島沙紀 氏

○ 在宅での医療サービス、介護サービスの導入について

（講師）ケアマネジメント Musubi 主任介護支援専門員 若月一晃 氏

○ 訪問診療について

（講師）TOWN 訪問診療所昭島本院 院長 木下 幹雄 氏
TOWN 訪問診療所 作業療法士 岩谷 清一 氏

3. アンケート結果について

【参加者年代】

40 歳代 3 名、50 歳代 8 名、60 歳代 9 名、70 歳代 12 名、80 歳以上 5 名

【講演会を知った理由】

広報あきしま 11 名、チラシ 10 名、市公式 LINE 6 名、家族の勧め 4 名、
知人の勧め 2 名

その他（職場の勧め、老人会の勧め、地域の講座での案内）

【在宅医療介護について興味のある分野】※複数回答可

- | | |
|--------------------------------------|------|
| ・ 日常の療養支援（緩和ケアの提供、家族への支援など） | 27 名 |
| ・ 入退院の支援（入院医療機関と在宅医療・介護との協働、情報提供） | 24 名 |
| ・ 急変時の対応（在宅療養者の急変時における往診や訪問看護の体制） | 23 名 |
| ・ 看取り（（患者が望む場所での看取り、人生の最終段階での意思決定支援） | 17 名 |

【講演会の感想】 ※抜粋

- ・具体的なお話が伺え大変参考になった。また本日もお話ししてくださった方々が、強い気持ちをもって取り組まれている様子が伺え心強く思った。
- ・まずは相談ということで、とても参考になりました。医療、介護、医師、作業療法士の4者の立場からの説明が複合的でとても良かった。
- ・わかりやすい説明で良かった。安心できる内容だった。
- ・自宅介護に関する相談の時期、方法について理解することができた。
- ・良い学習ができた。知らない事が多かったが、それに気づけたので良かった。
- ・これから介護に入る者だが、とても参考になった。
- ・介護には、先ず専門家に相談する事が大切だとわかった。家族に介護はまだ必要ないが、知識をもっていれば、慌てずに済むと思う。参加者が多かったので、必要な講演会だったと思う。
- ・訪問診療に関して知識がなかったのですが、色々ご説明いただき、最近では、かなり使い易くなっているという事で理解した。介護の考え方が変わった。
- ・親の介護を考えて参加した。とても分かりやすかった。
- ・まずは専門家に相談することを学んだ。
- ・医療と介護の連携の大切さもよくわかった。
- ・ケアマネジャーの話がよかった。申請しないと介護サービスにつながらない。専門職に相談するというアドバイスは適切だと思った。今回は介護医療がテーマでしたが、介護保険のABCの講座が必要ではないか。
- ・訪問診療所の事を初めて知った。
- ・皆様のご協力でこのような診療ができる事、大変ありがたく思う。
- ・昭島市で医療や介護を使い、安心して生活が出来る様にして欲しい。
- ・市民向けのお話としてとても分かりやすかった。
- ・現場の先生方のお話を伺うことが出来よかった。
- ・地域に支援をしてくれるところがたくさんあることで速やかに利用できたらいい。
- ・資料が分かりやすかった。家でも使っていきたい。
- ・知らない事がいっぱいありましたが勉強になった。
- ・訪問診療所のお話が大変参考になった。介護の経験があり、在宅での支援や連携は承知していたが、今後活用が必要になった折に心強く感じた。
- ・訪問診療について理解できたが、訪問医の所在地をもっと知りたい。
- ・とても参考になったが、実際の生活と遠い感じがあった。もっと深く知りたい。近くで身近な地域包括ケアシステムの事をもっと知りたいと思った。
- ・実際サービスを使いたくてもスタッフが少なく満足に支援を受けられないと聞くが、介護医療職が増えて在宅で安心して生活できるようにして欲しい。